

中種子特別支援学校 学校便り

なかとく便り



令和8年3月2日 発行



「50-50」

校長 宮脇 義博

ドジャースの大谷選手が、2024年に50-50を達成しました。本年度、本校は創立50周年、児童生徒数50人という50-50となり、記念式典等を実施しました。

熊毛地区に必要とされる特別支援学校として、50年間多くの取り組みをしてきました。1市3町の方々の熱意と本校職員の専門性で、本校の児童生徒の成長を支える教育力、地域への相談機能の強化、在校時から卒業後の社会参加に向けての取組など、法整備の後押しもありましたが、確実に取り組んでいると自負しています。

これからの50年も、地域と連携し児童生徒がこの地域で健やかに成長していくために必要な力を身に付け、過ごしやすい環境づくりを進めていきたいと思えます。

情報発信の一つとして、インスタグラムも始めました。



NAKATANETOKUSHI

【高等部屋久島支援教室】



屋久島支援教室では日頃より体力づくりの時間があります。動画にあわせてストレッチや有酸素運動をしながら、一人ずつ交代でウェイトを使った筋力トレーニングにも取り組んでいます。特にダンベルベンチ

プレスは毎日重量と回数を記録することで自身の成長を確認できて、達成感を味わいながら、意欲的に頑張っています。



【小学部】なかとくランド（常設遊び）

なかとくランドでは、子供たちが好きな遊びを考えたたり、中種子町の街を思い出したりしながら作りました。回転寿司「なか寿司」や街を再現したコーナーでは、店員やお客になりきってやり取りを楽しんでいます。また、新聞紙プールやトランポリン遊びでは、友達と声を掛け合いながら体を動かし、笑顔いっぱい遊ぶ姿が印象的でした。関わり合いを通して、学びの深まる時間となりました。



【中学部】なかとくチャレンジ

2月6日（金）に、自立活動や朝の運動で頑張ってきたことを発表する「なかとくチャレンジ」を実施しました。体育館で、歩行器を使っての歩行や、手押し車を発表したり、10分間走で自己新記録更新を目指して走ったり、それぞれ精一杯頑張りました。たくさんの声援に後押しされ、いつも以上の頑張りを見せることができました。目標を達成し、どの生徒もやりきったいい表情で活動を終えることができました。



【訪問教育学級】年末の学習

スイッチを使ったクリスマス飾りで光遊びをしました。光る物、回る物が大好きで、「もっと光って！」と自らスイッチを操作してクリスマス飾りのきらめきを楽しむようになりました。年賀状作成では、赤い着物を着て春田駒と遊ぶ様子を撮影しました。鮮やかな赤い着物に目を奪われて大喜び。着物を着用すると一転すまし顔をしながら、おしゃれを楽しんでいました。



創立50周年記念学習発表会・記念式典

11月29日（土）、本校体育館で創立50周年記念学習発表会と記念式典を開催しました。学習発表会では、各学部がこれまでの学習の成果を披露しました。小学部の劇や中学部の書道パフォーマンスやカップスの他、高等部は50年の歴史を調べ器楽演奏で表現するなど、多彩な演目を披露しました。50年にわたり積み重ねられてきた学校の歴史や思いが感じられる発表であり、どの演目からも仲間と協力して取り組んできた過程が伝わってきました。節目となる年にふさわしく、会場全体が温かい雰囲気になりました。また、記念式典では、新しい校旗を迎え入れ、児童生徒、職員、保護者、来賓のみなさんと創立50周年をお祝いしました。



ホームページ・ブログ公開中です

（ホームページ）

（ブログ）

www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/

nakatane-h-ss.edu.pref.kagoshima.jp/

[jp/ss/nakatane-h/index.html](http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/index.html)

pref.kagoshima.jp/

html



【高等部】

12月17日（水）に種子島高校との交流学习がありました。前半は、普通科とグランドゴルフをし、8つのグループに分かれて楽しく活動することができました。後半は、生物生産科で草花の寄せ植えや培養体験、牛のブラッシング体験をしました。種子島高校の生徒たちが丁寧に説明したり、一緒に活動したりして交流を深めることができました。

昼食は「風の街」に行き、それぞれ好きなメニューを頼み、食事を楽しみました。

今回も充実した交流学习になりました。



開かれた学校作りを目指して

熊毛地区高校総合文化祭（西之表市民会館）

1月16日（金）に、種子島高校と種子島中央高校、屋久島高校と合同で、総合文化祭が行われました。本校は合唱を2曲発表し、生徒による指揮と伴奏のもと、すばらしい歌声を響かせました。プログラムの最後は、熊毛地区4校の有志で「ヤングマン（Y.M.C.A）」を披露しました。その4校で勤務されているALTの先生も参加され、開場を大いに盛り上げました。来年度は、種子島こり～なで開催される予定です。



地域の清掃

高等部は2月3日（火）に、「なかとくチャレンジ」に向けて地域の清掃を行いました。高等部は、朝の体力作りや体育で学校周辺を走っており、いつも走っている校外走コースを高等部全員で清掃しました。天候にも恵まれ、高等部全員できれいに掃除をすることができました。



おはなしパレット読み聞かせ会

10月16日（木）、中種子町おはなしパレットさんをお招きし、小・中学部の児童生徒への読み聞かせ会を行いました。大型絵本やパネルシアター、歌遊びなど、楽しい企画をたくさん用意してくださり、児童生徒は目を輝かせていました。本に親しむ良い機会になりました。おはなしパレットさん、ありがとうございました。



甘い香りと笑顔の交流！黒糖作り体験

「いい匂い！」2月13日（金）、甘い香りと笑顔に包まれる中、黒糖作りに挑戦。社会福祉協議会や黒糖伝承館の皆様から地域に伝わる熟練の技を教わりました。

原料のサトウキビは、生徒たちが農薬や化学肥料を使わずに育てた自信作。新光糖業さんの「フィルターケーキ（製糖の副産物）」やねいろ24さんの「廃菌床（キクラゲ栽培の副産物）」を肥料に活用し、地域資源の循環の仕組みも学びながら育てました。

地域の皆様、伝統の技と温かい時間をありがとうございました。



中学部・高等部校内販売会について

1月30日（金）に校内販売会がありました。中学部と高等部がそれぞれの作業学習で製作してきた製品を販売しました。中学部では、窯業班と手工芸班があり、お皿やコップ、クリアファイルやペン立てを販売しました。高等部は窯業班、農芸班、木工・手工芸班があり、タンブラーやお皿、キーホルダーや卓上カレンダー、化学肥料や農薬を使わずに育てた野菜などを販売しました。接客や会計、袋詰めなども生徒で役割分担をして行いました。製品を丁寧に扱ったり、おつりを間違えないようお互いに確認したりなど、協力して活動に取り組むことができました。たくさんのご来場ありがとうございました。



・児童生徒各種表彰等一覧（敬称略）

○ 第19回鹿児島県障害者スポーツ大会

【50m走】第2位 久永りこ

【スラローム】第1位 美坂 貴一

【フライング アクイラシーディストリート5】第2位 岡崎 凜菜

○ 第62回南日本硬筆展

【金賞】久永りこ、大迫高彦、岡崎わかな

【銀賞】毛井架瑠、西川碧咲、町龍琥、砂坂翼颯、羽生一心、楨姫愛、山野文哉、岡崎凜菜、松山亜衣、宮田小春、甲斐開也、甲斐然大、村田優大

○ 第17回ふるさとの風景画作品展

【日高部賞】西川碧咲

【教育長賞】岡崎凜菜

【優秀賞】浮田桜羽、日高旭、町龍琥

【入選】鎌田蓮、中野光喜、鮫島健希、稲子勝、毛井架瑠、山下健心、村井美玲、長濱春斗、岡崎わかな、立石快仁、大迫高彦、山野文哉、宮田小春

○ かごしまジュニア検定 合格 毛井架瑠

○ 人権に関するポスターコンクール

【入選】峯山大佑、濱崎優斗

みなさんよく頑張りました！